

0 歳児



えん
園だより

がっこう
2月号



YMCA 保育園ねがい

2026年2月2日発行

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。 ヨハネによる福音書15章12節

寒い日が続きます。幼児クラスの子どもたちは、絵本で水が凍ることを知り、毎日、水を入れた入れ物をいろいろなところに置いています。今のところ、まだ氷はできていませんが、子どもたちのやってみたい気持ちを大切に、実験を続けています。これから、どうなるか楽しみです。

幼児

さて、今年度もあと2か月となりました。

今月の保育のねがいは0・1・2歳児「だいすき」

3歳児「つながりあう」4・5歳児「豊かになる」。



聖書は「愛」についてです。キリスト教は愛の宗教だと言われることがあります。

「愛」とは何でしょうか？ 目には見える数値や物では表せません。「自分よりも大切にすること」と言った人もいます。目には見えないけれど、自分の心が揺さぶられ、我を忘れて「大好き」と思う気持ちかもしれません。

「大好き」だから、「大切に」にしたいと思い、「触れて」いたくてぎゅっと抱きしめます。だれでも、大好きで、心が折れそうになった時に「ほっとして」「気持ちが落ち着く」よりどこが必要ですか。対象は「人」や「物」「動物」記憶や想像した「イメージ」かもしれません。私は「おばあちゃん」が大好きで、幼いころ「おばあちゃんが死んだらどうしよう」と思って寝床で枕を濡らしたことを思い出します。82才で亡くなるまで、私は一度も祖母に怒られたことがありませんでした。

先日、児童精神科医（田中 哲氏）の研修を受けました。人は時々、社会に迷惑をかける、間違った行動（Doing）をすることがある。けれど、存在（Being）に間違いはない。そして行動には必ず理由がある。という言葉が響きました。一番大切なことは、ありのままの自分が受け容れられて、愛されているという安心感（基本的信頼、愛着）だと思いました。生まれた事、生きていること。それぞれがかけがえのない、たった一人しかない、素晴らしい存在だと信じて、子どもたちとの毎日を今日も楽しんでいけたらと願っています。 今井世都

1・2 歳児



3 歳



幼児